

号外 緊急速報！

風車反対の熱血チラシでお馴染み、
津司康雄さんと共に、今後
の方策を話し合いませんか？

まだまだ安心できません！

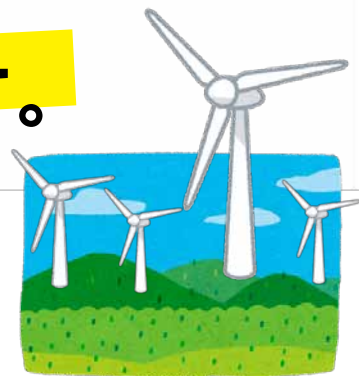
— 銀山が狙われています —



ゴーストタウン

黙っていたら、廃村になります。

反対を行動で示して行きましょう！
町長に訴えましょう！



私たちには、風車は要らない！

風車病になったら、立ち去るか、
泣き寝入りするしかありません！

家も土地も売れなくなります。
新規就農者も来なくなります！

11月26日 13:00~
日

銀山改善センター
にてお待ちしております。

ぜひ、議員さんも、町民の皆様もご参加ください。

北海道産 11月15日 水曜日

2023年 11月15日 水曜日

発行所 北海道新聞社 〒060-8711 札幌市中央区大通西3-6 電話 011-221-2111 www.hokkaido-np.co.jp

関電、後志の風力縮小へ

最大64基を20弱に

【古平、仁木、余市、共和】関西電力が後志管内の陸上で進める風力発電所の建設計画を、大幅に縮小する見通しであることが14日、分かった。同管内古平、仁木、余市、共和の4町にまたがる計画の最大出力を当初の26万8800瓩から、7万〜8万瓩と3分の1以下に見直す。計画を巡っては、自然環境や生活環境の悪化を懸念する声が上がっていた。政府が主力電源化を進める再生可能エネルギー開発の難しさが浮き彫りになった格好だ。

予定地に貴重な植生

関電が計画の大幅縮小を 変更の説明を始めている。 検討しているのは「(仮称) 関電が自治体などに説明した内容によると、昨年5月の計画公表後、事業を予定するエリア内の調査で、自然度の高い高山植生を多く確認したという。このため、事業エリア南側の仁木、共和町内での開発を取りやめ、事業エリアを古平、余

「日本自然保護協会」の若松伸彦氏は、「銀山地区の風車設置に対しては自然環境面の基準の中では合致してしまおうので、日本自然保護協会として**反対意見を出すことはできない**」と明言されました。

の3か所と合わせ、国や道に申請していた。

このうち、伊達市や千歳市などにまたがる計画(総出力7万9800瓩、最大19基)は、同7月に建設中止を発表している。残る計画も現在、環境への影響を調査中だ。

縮小を見込む今回の計画に対しては、日本自然保護協会(東京)が昨年6月に中止もしくは抜本的見直しを求める意見書を公開。仁木町内では、住民有志でつくる「仁木町の風力発電を考える会」が町議会に建設反対の陳情を提出するなど、一部で反対運動が続いていた。

後志管内では、大手総合商社の双日が6月、小樽市などで計画していた風力発電事業(総出力10万9千瓩、最大26基)の中止を発表している。この計画にも地元で反対論があった。(伊藤圭三、宇野沢晋一郎)

減る。ただ、仁木町南部の共和町との町境に広がる一部エリアについては、現在進める事業とは切り離し、別の風力発電事業として計画を再提出する見通しだ。

皆様のお力で、大幅に計画縮小となりました。しかし、仁木町南部(銀山エリア)には、引き続き別の計画があるとの報道です。まだまだ安心できません。皆さんで知恵を出し合い、計画を全面ストップできるよう、共に行動しましょう！

「仁木町の風力発電を考える会」

代表 穂積豊仁 TEL: 080-1863-1306